

## 英語学習者のための中国語入門 2

—— *I am glad to see you.* をどういうか——

福本 陽介

### 1. はじめに

母語話者による母語の容認度判断は料理に似ている。料理は同じ名前のものであっても地域や家庭ごとに使う食材が異なることがある。日本の家庭料理では、しばしば「塩を少々」などといった、厳密には計量しがたいレシピもある。或る料理研究家によれば、その微妙な匙加減がいわゆるお袋の味なのだという。

これと同じことが言語研究においても当てはまると感じるのである。規範的文法（規範的レシピ）を定めるのは文法家である。しかし、それを定めた途端にその言語の使用者が一斉にそれを受け入れるわけではなく、容認度差（お袋の味）が消滅することはない。

言語研究ではしばしば容認度判断の多数派が、或る構文の文法性を議論するときの根拠とされる。これは科学的には間違っていない。或る程度のデータのばらつきを捨象し、一般化を導くためにはやむをえないことであろう。しかし、この考え方は次のような邪推を呼び起こさないだろうか。或る構文の容認度判断において少数派であった母語話者は、一般化から外れる判断を示していることになる。よって彼らはその言語の獲得に何らかの点で成功していない、と……。

当然ながらそれは杞憂にすぎないのだが、上述のとおり言語研究では多数派を占めた容認度判断の事例が文法的文であるかのごとく解説されることがある。そのとき、少数派を占める表現が存在する理由についてはアドホックな説明がなされることも少なくない。特に構造主義的統語論においては、規範的な文の派生方法に従わない反例の扱いは厄介な問題であり、「今後の課題」としておくほかない場合があるだろう。

本稿はタイトルに示したとおり、英語学習者が中国語に対する理解を深めることを目的としており、言語理論の構築は目的ではない。したがって、このような内容は中国語ではこのように表現するのが普通であるというような、中国語の多様性を知らない読者に或る種の先入観を与える書き方は避けたいと思う。

今回は英語では *to* 不定詞を学習すれば必ず学ぶ副詞的用法の *to* 不定詞と、それと共起する感情形容詞の組み合わせについて考える。*I am glad to see you.* を中国語ではどのようにいうことができるだろうか。英語でこのパターンが使える表現の、中国語の対応表現を見ていくことにしよう。

### 2. SPO 言語という呪縛

類型論的には英語も中国語も述部の基本語順は SPO 語順である。屈折語と孤立語という違い

はあるものの、中国語に精通していない英語学習者は、中国語の語順も或る程度英語と似ていると推測するかもしれない。

英語の場合は形容詞が *to* 不定詞を選択していると考えられる。つまり、英語では形容詞を主節述語とした構文になっているというわけである。形容詞と不定詞節との意味的・構造的関係は *to* というマーカーによって示されている。しかし、中国語には *to* に該当するマーカーは存在しない。では中国語では、どのようにして形容詞（あるいは心理活動動詞）とその感情を引き起こす出来事を結びつけるのだろうか。

## 2.1 中国語は英語と似ているか

前節で述べたように、英語では *to* 不定詞を学習すると必ず、感情形容詞 + *to* 不定詞という形式の構文を学習する。よって、文法書・学習書のいずれでも必ずこの項目は解説されている。ところが、中国語の文法書・学習書ではこれに対応する文が独立項目として解説されてはいないというのが現実のようだ。筆者が所有する学習書を見る限りではあるが、これにかかわるコメントを述べているのは王（2011）と大茂ほか（2018）のみであった。王は「因果関係表現」という複文の一種類として、連詞（英語でいう従属接続詞のようなもの）を伴わない例の中で感情表現を含む用例を 1 例だけ挙げている（p. 323）。

- (1) 这次 给你 添了 很多 麻烦, 真 不好意思。  
Zhè cì gěi nǐ tiānle hěnduō máfan, zhēn bù hǎoyisi  
this time to you add ASP very much trouble really sorry  
(今回は大変なご迷惑をかけて本当に申し訳ありません。)  
(lit. I am sorry that I inconvenienced you very much this time.)

大茂らも (1) と同じ表現を用いた例を 1 例挙げている（p. 333）。日本語訳と英語訳は大茂ほかによる（以下同様）。

- (2) 给你 添麻烦了, 不好意思。  
Gěi nǐ tiān máfanle, bù hǎoyisi  
to you add trouble ASP sorry  
(迷惑をかけて申し訳ない。)  
(Sorry to have troubled you.)

英語では *I am sorry* が文末に来るように作文することはないだろう。王と大茂らの用例は有益ではあるが、*sorry* は「不好意思」以外にも別な表現が可能であるし、実際には「不好意思」を文の前半に配置する方法もないわけではない。試しに小学館の『中日辞典』で *sorry* の意味に当たる「抱歉 (bàoqiàn)」を調べてみると、以下のような用例が掲載されている。

- (3) a. 我 昨天 因 事 没 能 来, 很 抱歉。  
 wǒ zuótiān yīn shì méi néng lái, hěn bàoqiàn  
 I yesterday because-of thing not can come very sorry  
 (きのう私は用事があって来られませんでした。どうも申しわけありません。)
- b. 非常 抱歉, 没 法 帮 你 的 忙。  
 fēicháng bàoqiàn, méi fǎ bāng nǐ de máng  
 very sorry not way help you POSS busy  
 (お力添えできないことを大変遺憾に思います。)
- c. 叫 你 久 等了, 很 抱歉。  
 jiào nǐ jiǔ děngle, hěn bàoqiàn  
 make you long wait ASP very sorry  
 (お待たせして恐縮です。)

中国語では、英語の *to* 不定詞のような固定構文を用いることが基本とはいえなさそうである。このような表現の多様性は文法書・学習書では望むべくもないが、ほかにどのような表現方法があるかを調べるには既存の書籍は十分な役割を果たしていないといわざるをえない。

手始めに、*sorry* の意味を含む中国語表現を見てみることにしよう。本研究のためにインフォーマントに英文を見てもらい、各自が自然だと思う中国語に翻訳してもらった。協力者は北京語話者 6 名 (50 代男性 1 名、20 代女性 5 名) と、台湾華語話者 12 名 (30 代男性 1 名、30 代女性 11 名)、合わせて 18 名である。性別に偏りはあるが、集計した結果を見ると、地域差・年齢差・性差は見られなかった。以下の 2 例を見てみよう<sup>(1)</sup>。

(4) I'm sorry to be late.

A 群：

抱歉 我 遲到了。  
 bàoqiàn wǒ chídào le  
 sorry I late ASP  
 抱歉我遲到了。  
 抱歉遲到了。  
 很抱歉我遲到了。  
 很抱歉我遲到了。  
 很抱歉我遲到了。  
 很抱歉, 我遲到了。  
 我很抱歉遲到了。  
 我很抱歉我遲到了。  
 很抱歉遲到了。

很抱歉我會遲到。  
 很抱歉我會遲到。  
 对不起 迟到了。  
 duìbùqǐ  
 sorry  
 对不起 (不好意思), 我迟到了。  
 對不起, 要遲到了。  
 不好意思 来晚了。  
 不好意思我會遲到。

B 群：

来晚了, 对不起!

(5) I'm sorry that I'm late.

A群：

抱歉我遲到了。  
很抱歉我遲到。  
很抱歉我迟到了。  
很抱歉我遲到了。  
很抱歉我迟到了。  
很抱歉我遲到了。  
很抱歉我遲到了。  
我很抱歉我遲到了。  
我很抱歉我遲到了。  
我很抱歉我遲到了。  
很抱歉，因為 我 來 晚了。  
yīnwèi wǒ lái wǎnle  
because I come late ASP

对不起迟到了。  
對不起遲到了。  
对不起 (不好意思), 我迟到了。  
不好意思我遲到了。  
不好意思来晚了。

B群：

遲到我深 感 抱歉。  
shēn gǎn  
deeply feel  
来晚了, 对不起！

英語には *sorry to do / sorry that* と 2 とおりの表現があるが、上記のとおり、中国語では大きな差はないようである。中国語には補文標識としての *to/that* がいないため、形態的にそれらの違いを反映させる手段がないといえそうだ。それぞれのA群は英語の感情形容詞相当表現が先行しているケースで、B群は後続しているケースである。数の上ではA群が圧倒的に優勢だが、B群のような表現も可能で、少数派だからといって容認不可能な表現でないことに注意されたい。「来晚了, 对不起！」という言い方は口語的に思われるが、まったく問題ない。また、*sorry* に相当する表現として「抱歉」「对不起」「不好意思」の3種類が用いられており、話者の出来事に対する認識・心的態度によって表現も多様であることが見てとれる<sup>(2)</sup>。

これらの例から、中国語も英語と同様に主要部先頭言語なので、主節述語が先行するのが通常のパターンだと推測されるのではないだろうか。

## 2.2 *I am glad to see you.* を中国語でどういうか

では *I am glad to see you.* は中国語ではどのように表現できるだろうか。以下の例を見てみよう。

(6) I am glad to see you.

A群：

很 高兴 见到 你。  
hěn gāoxìng jiàn dào nǐ  
very glad see you  
很高兴见到你。  
很高兴见到你。

很高興見到你。  
很高興見到你。  
很高興見到你。  
很高興見到你。  
很高興見到你。  
很高興見到你。

很高興見到你。

很高興見到你。

我很高興見到你。

我很高興能 見到你。

néng

can

B群：

見到你很高兴。

见到您，很高兴。

见到你，我很高兴。

能见到你很開心。

kāixīn

happy

可以碰到 面 感覺 很 開心。

kěyǐ pèngdào miàn gǎnjué hěn kāixīn

can encounter face feel very happy

これを見ると、13人（約67%）のインフォーマントが主要部先頭語順を選んでいるのに対し、5人（約33%）が逆の語順を選んでいることがわかる。割合だけ見れば中国語の基本語順は英語と同じなのではないかと思われるだろう。しかし、各例のB群は原因と結果の順に並べるという情報構造を採用しており、論理的にはごく自然な表現である。「あなたに会えた」→「嬉しい」というように、出来事を発生順に連続させれば、ふたつの出来事の間因果関係があると理解できる。このような情報の流れを見ると、中国語は日本語に類似している側面があることがわかる。日本語では、接続詞を用いなくても単文を連続させることで論理的な文脈を生み出すことができる。

(7) a. 雨が降った。傘をした。(雨が降ったので傘をさした。)

b.\*傘をさした。雨が降った。

この例では(7b)は論理的に不自然であり、通常の発話としては成立しない。なぜなら発話者が傘をさすことによって雨が降り出すという自然科学的な原理・法則は見出せないからである。逆に(7a)のように単文を配列すれば、因果関係のある発話として伝達し、理解することができる。上述の王(2011)の指摘のように、中国語も、接続詞を用いなくても、その統語的な配列から因果関係などの論理的意味を読み解くことが可能な言語なのである。英語でも *Because I can see you, I am happy.* (直訳) のような言い方をすることも不可能ではないだろうが、英語らしい表現とはいいにくい。

ここまで(4)–(6)で *sorry to* 不定詞、*sorry that* 節、*glad to* 不定詞の例を見てきたが、いずれも感情述語が出来事に先行する語順が優勢のように思われる。その他の述語の事例を3節でさらに詳しく観察するが、次節では中国語の感情表現の品詞の問題について少し考察しておきたい。

### 2.3 中国語における感情述語の品詞について

(6)の例に話を戻そう。大茂ほか(2018:459)も「高兴」を用いた例を挙げている。

(8) 很 高兴 能 看到 这么 漂亮 的 櫻花。

hěn gāoxìng néng kàn dào zhème piàoliang de yīnghuā  
very happy can see such beautiful DE<sup>(3)</sup> cherry blossome

(こんなに美しい桜の花が見られて、とてもうれしいです。)

(I'm happy to see such beautiful cherry blossoms.)

大茂らは以下のように補足説明している。

上記例文の“高兴”は形容詞であるとも理解できる。もし形容詞と考えるなら、“(我) 很 高兴, 能看到这么漂亮的櫻花”と“高兴”でポーズがあるものとする。前文を後置して、“能看到这么漂亮的櫻花, (我) 很 高兴”としても良い (p. 459)。

中国語では品詞の区別が非常に難しい。形態を見るだけではそれが名詞なのか動詞なのか形容詞なのか判断するのが困難なことが多々ある。英語を含む印欧語族のように、屈折変化や接頭辞・接尾辞などの形態論的のマーカが語根に付加することが中国語ではないからである。また、2節冒頭で触れたが、感情を表す述語は心理活動動詞と呼ばれることがある。心理活動動詞は快・不快、怒り、好悪、安心・不安、恐怖などの感情と物事に対する主語の推測、確認、判断、思考などを表す (大茂ほか 2018 : 458)。英語では *to* 不定詞とともに感情を表すのは (少なくとも学校英文法では) 形容詞だが、それに対応する中国語の表現では、述語が必ず形容詞であると断じることも難しい。しかも、感情の発生する原因節と主節の配列も一様ではないことを見れば、英語のように定式化した構文解説は困難であることは想像に難くない。

ここで中国語の形容詞と動詞を区分する基準について簡単に触れておこう。中国語では形容詞述語文の場合、「很」を入れ、「他很高。」(彼は背が高い) のように表現する。「很」は本来 *very* に相当する副詞だが、通常、強調詞としての解釈は出てこない。単に主述関係を成り立たせるための文法機能を果たしているにすぎないと考えておけばよい。もし「很」を入れずに「他高。」といえ、(彼は他の誰かと比べて背が高い) という比較の読みを生む。逆にいうと、「很」を含む場合は、主語を他の何かと比較する解釈は生まれず、「彼」の性質を述べているだけである。

朱 (1995 : 659) は形容詞と動詞を区別する以下の基準を掲げている。

- (i) “很”の修飾を受け、且つ目的語をとることができない述詞は形容詞である。
- (ii) “很”の修飾を受けないかあるいは目的語をとることのできる述詞は動詞である。

この基準によれば、本稿で示す例の大部分は (i) のタイプに属する形容詞だといえそうである。一方、(ii) の前半の要件を満たす述語 ((9) の「惊讶 (jīngyà)」「嚇一跳 (xià yī tiào)」など) もあるが、これらは動詞だということになる。しかし、原因→感情という情報構造に沿って発話された文においては、該当する述語に目的語相当の表現は後続しない。そうすると、朱の判断基準だけに基づいて、その述語が形容詞か動詞かを判定することはやはり難しい。心理活動動詞は「很」

に修飾される場合もあるからである（「很惊讶」など）<sup>(4)</sup>。

本稿では形容詞と動詞の区別について深く立ち入らないが、英語における形容詞と不定詞相当部分との配列順序が中国語では多様であることから、不定詞相当部分は感情述語の目的語ではなく、述語から独立した要素であると考えておこう。

### 3. 感情形容詞 + *to* 不定詞のさらなる考察

前節では、中国語には英語の感情形容詞 + *to* 不定詞のような典型的なパターンが見出せないことを見た。本節ではその他の感情形容詞をいくつか考察し、前節のさらなる傍証としたい。

#### 3.1 *Surprised*

本節では *surprised* + *to* 不定詞/*that* 節の中国語翻訳を見てみよう。すでに触れたように、中国語では *to* 不定詞/*that* 節のようなマーカーがない。以下で見るように、英語のマーカーは機械的に中国語訳できるわけではないことがわかる。

(9) の A 群は「しらせを聞いて驚いた」というように日本語と同じような表現方法を用いているグループである。一方 B 群は「驚いた、そのしらせを聞いて」のように英語の語順に近い表現である。C 群は使役動詞（「令 (ling)」）を用いた表現である。

(9) I am surprised to hear that news.

A 群：

听到 那个消息 我 很 惊讶。  
tīng dào nàgè xiāoxī wǒ hěn jīngyà  
hear that news I very surprise  
听到这个 消息我很惊讶。

zhège

this

聽到這個消息我很驚訝。

聽到這新聞 我很驚訝。

xīnwén

news

听到那个消息，很惊讶。

听到那个消息，我很吃惊。

我聽到這個消息很驚訝。

我听到这个消息后很惊讶。

聽到這個消息嚇了一跳。

xiàle yī tiào

surprise

聽到那個消息嚇了一跳。

聽到這消息嚇了一跳。

聽到這件事 嚇了一跳。

jiàn shì

thing

聽到這個消息很震驚。

zhènjīng

shock

听到这个消息我很震惊。

我聽了很驚訝。

B 群：

好驚訝聽到這個消息。

我很驚訝聽到這個消息。

C 群：

這 太 令 我 驚訝 了。

zhè tài ling wǒ jīngyà le

this too much make me surprise ASP

(10) I am surprised to hear that he has had an accident.

A 群：

听到 他 遭遇了 事故  
tīng dào tā zāo yù le shìgù  
hear he encounter ASP accident

我 很 惊讶。

wǒ hěn jīngyà

I very surprise

听到他发生 了事故我很震惊。

fāshēng

occur

听说他遭遇交通事故，很惊讶。

我听到他出了事故很惊讶。

听到他遇到了事故我很惊讶。

我聽到他發生意外 很驚訝。

yìwài

accident

聽到他的意外，我很驚訝。

聽到他發生意外，我好驚訝。

我聽到他遭到事故的事嚇了一跳。

聽到他遭遇事故的消息我嚇了一跳。

聽到他過到事故嚇了一跳。

聽到他發生事故我嚇了一跳。

聽說他碰到 意外，我嚇到 了。

pèng dào xià dào

had scare

我聽到他發生意外感到 很 詫異<sup>(5)</sup>。

gǎndào hěn chàyì

feel very surprised

听说他出事故了，我很意外。

yìwài

unexpected

B 群：

我很驚訝聽到他出意外了。

我很驚訝聽到他發生了意外。

我受到 驚嚇

shòudào jīngxià

suffer surprise

因為 聽到他遭遇意外。

yīnwèi

because

(10) も (9) と同様に、A 群に列挙した、原因→感情という順序が大多数で、心理活動動詞が先行する B 群のほうが少数派である。

To 不定詞を含まない (11) では心理活動動詞が先行する B 群も少なくないが、それは形容詞が *that* 節を直接選択しているからということが理由ではないだろう。なぜなら、(4)(5) の対立において顕著な差が見られなかったからである。中国語では A 群、B 群の言い方はほぼ等しく可能であるといってよいと思われる。一つ指摘しておく、(9)–(11) までをつうじて、「嚇一跳」のように明らかに動詞と思われる述語が現れる場合は、出来事節に後続する使い方しかできないようである。因みに C 群のように、使役動詞（「讓 (ràng)」）を使用した表現も可能である。これは直感的に見て、英語の使役動詞の用法に近い表現といえそうだ。((9) C 群も参照)

(11) I am surprised that he has had an accident.

A 群：

他遭遇了事故我很惊讶。

他遭遇交通事故，很惊愕。

对于他的事故我感到很惊讶。

聽到他發生意外我好驚訝。

他出了事故我很惊讶。



聽到他遭遇意外嚇了一跳。  
 他遭遇事故我嚇了一跳。  
 他過到事故嚇了一跳。  
 他發生事故我嚇了一跳。  
 他發生意外我感到很詫異。

B群：

我很驚訝他發生意外。  
 我很驚訝他發生了意外。  
 我很驚訝他碰到意外。  
 我很驚訝他出意外了。  
 我很驚訝他的意外。  
 我很震惊他發生了事故。  
 我很意外他出事故了。

C群：

他發生 的 事故 太 讓 我 震驚 了。  
 tā fāshēng de shìgù tài ràng wǒ zhènjīng le  
 he occur DE accident too much make me surprised ASP

本節では *surprised* を述語とする英語の中国語対訳を見てみた。強いて優勢な表現方法を挙げるとすれば、(9)(10)の *surprised to hear NP/that* 節では感情述語が出来事に後続する表現が多い。一方、(11)の *surprised that* 節では感情表現は出来事節の前後に現れる可能性は同じくらいといえそうだ。

### 3.2 *Disappointed*

本節では *disappointed* を含む事例を見てみよう。(12)–(14)のほとんどが「失望」という動詞を用いており、A群タイプの語順が圧倒的に多い。(12)と(14)のC群では使役構文が使われている。

(12) I am disappointed to hear that news.

A群：

聽到 这个 消息 我 很 失望。  
 tīng dào zhège xiāoxī wǒ hěn shīwàng  
 hear this news I very disappoint  
 聽到這消息很失望 (很失落)。  
 shīluò  
 lose

聽到這個消息好失望。  
 我聽到这个消息后很失望。  
 我聽到這個消息很失望。  
 聽到这个消息我很失望。  
 聽到這個消息我很失望。  
 聽到這件事情很失望。  
 聽到這個消息感覺到失望。

聽到這件事 (未完成)  
 聽到那个消息我很失望。  
 聽到那个消息, 很失望。  
 聽到那个消息, 我很失落。  
 聽到那個消息覺得很失望。  
 我聽了很失望。

B群：

我很失望去聽到這個消息。  
 我很難過 聽到這新聞。  
 nánguò  
 sad

C群：

這個消息真讓人失望。

(13) I am disappointed to hear that he has failed in the exam.

A 群：

聽到他落榜我很失望。  
聽到他落榜了我也很失望。  
聽說他落榜，我很失望。  
聽到他落榜我很失望。  
聽到他落榜的事我好失望。  
聽到他落榜的消息我非常失望。  
聽到他落榜的消息我覺得很失望。  
聽到他考試沒通過我很失望。  
聽說他去考試不合格我很失望。

听说他没考上，我很失望。  
我听到他考试落榜了很失望。  
听说他考试没合格，我很失望。  
我聽到他考試考壞了很失望。  
聽到他考試失利，我好失望。  
我聽到他考不好的消息感到很失望。  
聽到他落榜，我也很難過。  
聽到他沒通過考試我感到很難過。  
聽到他落榜我感到失落。

(14) I am disappointed that he has failed in the exam.

A 群：

他落榜 我很 失望。  
tā luòbǎng wǒ hěn shīwàng  
he fail I very disappoint  
他落榜了我好失望。  
他落榜了我也很失望。  
他落榜我覺得很失望。  
他落榜我感到失落。  
他的落榜我很失望。  
对于他的落榜我感到非常失望。  
duìyú tā de luòbǎng  
about his POSS failure  
他考试没通过 我很失望。  
tā kǎoshì méi tōngguò  
he exam not pass  
他考试失败了我很失望。

他没考上，我很失望。  
tā méi kǎo shàng  
he not pass  
他考试落榜了我很失望。  
他考试没合格，我很失望。  
他考試失利我好失望。  
他沒通過考試我感到很難過。  
他落榜了我很難過。

B 群：

我很失望他考試考壞了。  
我很失望他落榜。

C 群：

他考得不好讓我也感到很失望。

(14) A 群の 7 例目には「对于」(~について) という表現が使用されている。一種の主題化表現といえるだろう。

以上の観察から、*disappointed* の場合も、原因→感情という配列が圧倒的多数であることがわかる。*Surprised* の場合と同様に、「或る出来事を聞いて、それによって或る感情を抱いた」という時間軸上の流れに従って表現する傾向が見られる。ただし、だからといって、B 群、C 群のような表現が不可能ではないことに注意されたい。

### 3.3 Pleased

次に *pleased* を用いた表現を見てみよう。原因と感情が結びついている表現であるという点では *surprised/disappointed* と変わらないはずだが、英語の形容詞に後続するのが *to* 不定詞か *that* 節かによって、中国語訳に特別に優勢な配列が見いだせるとはいえないようだ。

(15) I am pleased to hear that you have succeeded.

A 群：

聽到 你 成功了 我很 開心。  
 tīngdào nǐ chénggōngle wǒ hěn kāixīn  
 hear you succeed ASP I very pleased  
 聽到你成功我很開心。  
 聽到你成功我好開心。  
 聽到你成功了我很開心。  
 聽到你成功了，我很開心。  
 聽到你成功的消息真令人開心。  
 聽到你成功我很高興。  
 聽到你成功了我很高兴。  
 我聽到你成功了很高兴。

听说你成功了，我很高兴。  
 听说你成功了，我很高兴。

B 群：

我很高兴听到你成功了。  
 我很高興聽到你成功了。  
 我很高興聽到你成功了。  
 我很高興聽到你的成功。  
 很高興聽到你成功的消息。  
 很开心听到你成功的消息。  
 很高興聽說你成功了。

(16) I am pleased that you have succeeded.

A 群：

我很高兴你成功了。  
 我很高兴你成功了。  
 我很高興你成功了。  
 很高興你成功了。  
 很高興你成功了。  
 我很高興看到你的成功。  
 我好高興你成功了。  
 我很開心你成功了。  
 我很開心你的成功。  
 好開心你成功了。

你成功了，我很高兴。  
 你成功我感到開心。  
 你可以成功我也很高興。  
 你能成功我很高兴。

C 群：

对于 你的成功我感到很开心。  
 duìyú  
 about  
 對於你成功了我很開心。  
 對於你的成功我很開心。  
 我替 你的 成功 感到開心。  
 tì nǐ DE chénggōng  
 for your success

B 群：

你成功了，我很高兴。

(16) の C 群では、「对于」(～について) という表現が使用されている。最後の文は「あなたの成功に対して」といったところか。

ところが、同じ *pleased* でも、以下のような文の場合、(4)–(6) の *sorry/glad* と似たパターンが多く観察されるようである。

(17) I would be pleased to go with you.

A 群：

我 很 高兴 能 跟 你 一 起 去。

wǒ hěn gāoxìng néng gēn nǐ yīqǐ qù

I very happy can with you together go

很高兴能和 你一起去。

hé

with

很高興能跟你一起去。

很高興能跟你一起去。

我很高興能跟你一起出去。

很高興可以跟你一起去。

很高兴与你一起去。

很高興與 你同行。

yǔ

with

我很愿意 和你一起去。

yuànyì

want

我很願意跟你一起去。

我很開心能跟你一起去。

我很樂意 跟你一起去。

lèyì

pleased

我很樂意和你一起過去。

很樂意跟你去。

我很樂意和你一起去。

B 群：

和你一起去我很高兴。

和你一起去我很开心。

如果你能一起去我會很高興。

ついでながら、比較的 *pleased* と近い意味を持つと考えられる *happy* を使用した例を見てみよう。*sorry/glad* とは異なり、感情述語が後続する訳文のほうが多かったが、かといって感情述語先行語順が少ないというわけでもない。

(18) I am happy to be with you.

A 群：

和 你 在 一 起 我 很 开 心。

hé nǐ zài yīqǐ wǒ hěn kāixīn

with you be together I very happy

和你在一起很开心。

我和你在一起很开心。

和你在一起我很開心。

跟你在一起很開心。

跟你在一起很開心。

跟你在一起我很開心。

跟你在一起真令人開心。

我跟你在一起很开心。

能和你在一起，很高兴。

可以跟你一起去很開心。

B 群：

我很開心和你一起。

很開心和你在一起。

很開心跟你在一起。

我很開心能在你身邊。

很高兴能和你在一起。

很高興能跟你在一起。

我很高興跟你在一起。

|

### 3.4 まとめ

3節では、英語の *to* 不定詞構文に現れるいくつかの形容詞をとりあげ、それらが中国語ではどのように表現されるかを見てきた。中国語では、感情述語と原因節の順序について、述語ごとに、また、形容詞に後続する形式 (*to* 不定詞/*that* 節) ごとに、一定のパターンが必ず見いだされるというわけにはいかないようだ。本稿で考察した事例を、述語が先頭・末尾のいずれに現れるのが優勢かに基づいて以下の表にまとめておこう。

表1 英語の形容詞+ *to* 不定詞表現に相当する中国語の優勢語順

述語タイプ	述語先頭	述語末尾	備考
<i>sorry to inf.</i> (4)	✓		
<i>sorry that</i> (5)	✓		
<i>glad to inf.</i> (6)	✓		
<i>pleased to be</i> (17)	✓		
<i>pleased that</i> (16)	✓	✓	先頭>末尾
<i>surprised that</i> (11)	✓	✓	末尾>先頭
<i>pleased to inf.</i> (15)	✓	✓	末尾>先頭
<i>happy to inf.</i> (18)	✓	✓	末尾>先頭
<i>surprised to inf.</i> (9)		✓	
<i>surprised to hear that</i> (10)		✓	
<i>disappointed to inf.</i> (12)		✓	
<i>disappointed to hear that</i> (13)		✓	
<i>disappointed that</i> (14)		✓	

述語先頭が圧倒的に優勢であった事例から、述語先頭・述語末尾ともほぼ同数だった事例、述語末尾が優勢な事例へと配列している。ここから明らかのように、中国語は英語と同じように述語先頭語順が好まれるケースもあれば、日本語に似て、述語末尾で表現されるケースも少なくないことがわかる。

## 4. おわりに

本稿では、英語の *to* 不定詞で表現できる感情表現を中国語でどのように表すことができるか、実例を見てきた。観察の結果、英語では感情形容詞+ *to* 不定詞という定式化したパターンで表現できるのに対し、中国語では、主節と原因節の配列が多様であることがわかる。類型論的にはPO言語のパターンに従って感情形容詞(心理活動動詞)+原因節とするのが正しい文法だと断ずることもできないし、論理的因果関係に基づいて配列するのが必ず主流だともいえない。いずれの表現方法も可能なのである。この点で、*I am glad to see you.* を *To see you I am glad.* といえない英語とは大きく異なる。

本稿の観察を英語学習者・研究者が活かすとすれば、類型論に頼って中国語の文法を推測するわけにはいかないということを知ることと、一部の言語事実に基づいて（少数派の表現をとりあえず無視して）言語理論を構築してしまわないよう気をつけることが考えられるだろう。とりわけ生成文法理論のように世界中の言語資料を参照せざるをえない理論の場合は、その言語の基本情報をよく知らないまま、先行研究の示した事例の文法性に基づいて立論することは少なくないと思われる。理論的貢献は言語学にとっては大切なことだが、理論構築のために依拠した言語データが、実は母語話者の誰もが不審に思う、あるいは間違っただけで現実にそのような言い方はしない表現の羅列にならないよう、言語学者は気をつける必要がある。そうして構築された理論や観察・記述は一般の学習者を含む社会にも知的還元（貢献）ができると期待される。

本稿の考察のきっかけは、一般の中国語学習書や参考書などで、英語の副詞的用法の *to* 不定詞構文に相当する表現を中国語でどのように表現すればよいのか指摘している項目が見当たらないことが不思議に思われたことであった。本稿が、言語学者にとって、そして一般の英語学習者や中国語学習者にとっても、中国語の表現の実像に迫る一助となれば幸いである。

## 注

- (1) 本研究にご協力くださったインフォーマントの方々へ感謝申し上げる。本稿では、インフォーマントのアイデンティティを尊重し、引用例はインフォーマントが書いたとおり表記する。したがって、本稿では簡体字・繁体字を併用する。また、翻訳がほぼ同じ場合には代表的な例のほか、中国語の表現を理解するのにどうしても注釈が必要だと筆者が判断した箇所にのみにピンインを付すに留める。
- (2) 大茂ほか（2018）は中国語・日本語・英語を対照させた文法書で膨大な用例を掲載しているが、日常的に用いられる表現として挙げた *sorry* に相当する文は、「对不起。」「实在抱歉。」「すみません／申し訳ありません」だけで（p. 549）、内容節を伴う用例は挙げていない。
- (3) ここでの「的」は限定形容詞と名詞を連結する要素である。中国語では Ross（1969）などが指摘するように、形容詞による限定修飾表現は関係節構造をとるという説がある。「的」は関係詞としてのマーカークの機能をはたしている。英語のように形容詞が名詞を直接修飾することもないわけではないが、一般的には、形容詞と名詞は「的」という連結器を介さなくては結合できないと考えておいてよい。このような「的」はグロスとして単に *DE* と表記するに留めておく。形容詞と名詞の修飾関係において、一部の例外を除き「的」を用いて両者を結合しなければならぬことは一般の学習書でも指摘が多い。連体修飾語（定語）と「的」の関係について、ごく簡単には相原ほか（1996）の第5課（p. 51）を参照。王（2011）の Unit 27（pp. 295-305）にはかなり詳細な解説があるので参照されたい。
- (4) 『最新編五南國語辭典』（2013、五南圖書出版股份有限公司）では「驚」（「惊」の繁体字）は動詞と記載されている。同辞典で「高興（gāoxìng）」（「高兴」の繁体字）の「興」を見ると、「高興」も動詞の用例に挙がっている。守屋（1995：22）も心理状態や生理状態を表す一部の動詞は「很」に修飾されることがあると述べている。ここでは心理述語に相当する例を挙げておく。
  - (i) 我 很 喜 歡 吃 麵 條。(私は麺類を食べるのがとても好きだ。)

wǒ hěn xǐhuān chī miàntiáo  
I very like eat noodle
- (5) 英語の形容詞に相当する表現が動詞「感到」に後続している例が、本例を含みいくつか見られ

る。以下、「感到」「受到」のような述語動詞に感情表現が後続している場合は「感到」を含む該当部分にまとめて下線を付す。

## 参考文献

- 相原茂・石田知子・戸沼市子（1996）『Why? にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社，東京。  
王亜新（2011）『中国語の構文』アルク，東京。  
大茂利充・後平和明（2017）『日・英・中 三方攻読 中国語文法ワールド』朝日出版社，東京。  
守屋宏則（1995）『やさしくくわしい中国語文法の基礎』東方書店，東京。  
Ross, C. (1969) "On the Functions of Mandarin *De*," *Journal of Chinese Linguistics* 11: 212–246.

（受理日 2021年1月6日）